

わたしはぶどうの木、

あなたがたはその枝である。

人がわたしにつながっており、

わたしもその人につながっていれば、

その人は豊かに実を結ぶ。

～ヨハネによる福音書15:5-9～

shalom (シャローム) は「平和」を意味するヘブライ語。
「こんにちは」「さよなら」の挨拶として使われています。しりよ もと
思慮深い人は皆 知識に基づいてふるまう。

旧約聖書 箴言13:16

おはようございます、聖愛のクイズ王、棟方です。今日は私がこの称号を得ることになった出来事について、話したいと思います。2018年夏、私は大阪に行っていました。そう、毎週日曜昼過ぎに放送しているクイズ番組「アタック25」に出るためです。ちなみに出場のきっかけは、私のカミさんが私の名前前で地区大会の応募をしたことです。出たいと考えている方もいると思うので話しておく、アタック25には地区大会があります。地区大会の筆記試験で合格すると、その場で面接があり、それも合格だと家に合格通知が来ます。しかし、それですぐに出場できる訳ではありません。その通知から1年間出場資格がもらえるというだけで、実際に収録に呼ばれるかは分かりません。呼ばれずに1年経ったら、また地区大会から受け直す必要があります。私の場合、テレビ局の人から連絡が来たのは地区大会からもうすぐ一年という頃でした。

さて、話を戻しましょう。大阪での本戦の話です。毎回アタック25の出場者はテーマを決めて集められるのですが、その回は先生大会ということで出場者4人とも先生でした。皆さん頭が良さそうで、とても気後れしたのを覚えています。軽くヘアメイクをしてもらったり、リハーサルをやったりして、あっという間に本番です。緊張はかなりしていました。ですが、元々クイズ番組を見て考えたり答えたりが好きだったので楽しんでいた部分もありました。アタック25は、25枚のパネルを4人で取り合うクイズ番組なのですが、答えたり、答えられたり、あえて答えなかったりして、順調にパネルを取っていくことができました。パネルを取るルールが決まっています、答える順番で取れるパネルが変わってきます。前の人が取ったパネルのおかげで角を取れたこともあり、運もかなり良くパネルを取っていったと思います。ところが、大事な大事なアタックチャンスの問題。気合いが入りすぎた私は、問題の答えが分からなかったにも関わらずボタンを押してしまいました。もちろん正解できず、お手つきのペナルティとして2問の間答える権利を失ってしまいました。その2問の間、欲しい箇所がどんどん取られていきます。復帰した時点で残り問題数は4問。その後の3問、取ったり取られたり、攻め防ががあり、いよいよ最後の1問になりました。その時点で、最後の1問を取った人が優勝という状況でした。

「問題。国際司法裁判所があるオランダの都市は……」

ピンポン！ ランプが点いたのは私のボタンでした。

「ハーグ！」答えた後の一瞬の沈黙。ピンポンピンポン！

正解のブザーが鳴り響きました。

まあその時の私のドヤ顔といったらありません。(右写真参照)

こんな訳で、私はアタック25で勝利を掴むことができたのです。

ちなみに、その後の優勝者向けの海外旅行獲得を賭けたクイズですが、頭真っ白で全然答えられませんでした。

さて、私はクイズの準備として本番1ヶ月前に1冊の本を買いました。『東大クイズ研のすごいクイズ』という本です。本屋でクイズ本をパラパラめくってなんとなく決めた記憶があります。では突然ですが問題です。この本に500問載っている問題の中で、本番に出た問題はどの問あったでしょう。シンキングタイムは1秒。はい、答えは、1問です。えっ、少ない、と思いましたか？でも、その1問というのがなんと、優勝を決めた1問だったのです。この本を読むまで国際司法裁判所の場所なんて知りませんでしたし、ハーグなんて都市も知りませんでした。この本で勉強していたおかげで、その1問が解けたのです。

こうして結果を振り返ってみると、勉強の本質のようものがなんとなく分かったような気がしました。それは、どれだけ勉強して、何百、何千、何万と知識をインプットしても、その中の1つでも使えれば幸運だということ。そしてしかし、その1つが人生を変えるものであるかもしれないということです。今皆さんの中には、何で勉強するのか分からない、今やっている勉強が何になるのか分からない、という人もいます。確かに、今やっている勉強の99パーセント、いや、99.9パーセントは将来の役に立たないかもしれません。でも、その知識や考えが必要になる日がいつ来るか分かりません。分かりやすいのはテストの日だと思いますが、もしかしたらそれ以外の時に必要になることもあるのではと思います。大学に入って必要になることもあれば、仕事に就いてから使う知識もあるでしょう。また、取引先の人と話をしたときに、中学高校の知識に救われることがあるかもしれません。何百と覚えたうちのたった1つのおかげで、人生が良い方向に向かっていることは確かにあると私は信じています。今なんてやっているか分からない、無駄だと思えることでも貪欲に覚えていってほしいと思います。それがいつあなたを助けることになるか、神様しか分からないのですから。

ちなみに1つ付け加えると、今年度の生徒会誌で、私は、今日言ったこととは違う「勉強する理由」について書いています。ぜひ生徒会誌が渡ったら読んでみてください。



◆文集弘前 掲載作品

◇生活文・意見文の部

江良 風花(3年) 「ご近所付き合い」

◇俳句の部

中村 裕吾(3年) 「コロナゆえ誰も見に来ず山笑う」
大西 心那(2年) 「バスを待つポケットの中ホッカイロ」
工藤 伶衣(2年) 「晴天のまだまだ淡い紫陽花寺」
先崎 瑞(2年) 「幼少期の亡き祖父の手や夏の陽」
相馬 百花(2年) 「ねぶたの手大きく闇をつかみ行く」
五十嵐陽乙(2年) 「川べりの蛍のひかり夢のせて」
原田 璃乙(1年) 「夏の空夕日をかこむ青と白」
竹谷 俊亮(1年) 「友と飲む白銀町の氷水」

◇川柳の部

齋藤 美来(3年) 人位 ☆「こんにちは」面と向かって太陽に ☆
粟島 秀斗(1年) 「甲子園汗・泥・涙・日本一」

◆1,2年特編授業 3月5日(金) ①～④ ※3年生は卒業礼拝練習日

昨年度、全国一斉休校で中止になった特編授業です。平川市の画家 井上信平さんを講師にお迎えし、講話の後、第3体育館でアクリル画を制作します。井上さんは、岩木山の絵を描く画家として有名です。元気が出る講話も楽しみです。アクリル絵の具は服につくと落ちにくいので、汚れてもいい服を準備してください。

◆卒業レポート発表 2月18日(木) ⑤⑥ 場所：大礼拝堂

発表順と発表テーマを紹介します。2月行事予定表でもお知らせしましたが、観覧希望の保護者の方は、2階席でご覧ください。

※司会進行：中澤咲響(2年)、清野快斗(2年)

- 1 三上 結愛 「動物が与える影響」
- 2 宇野 琥太郎 「テレビと携帯電話」
- 3 板橋 芽生 「自動車の交通事故 ～年々増えている煽り運転～」
- 4 木村 咲紀 「歌詞分析 ～『砂の惑星』で伝えたかったこと～」
- 5 石山 京那 「尊属殺について」
- 6 今 春翔 「メディアリテラシー」
- 7 對馬 伊吹 「親子一緒に学力アップ！！」
- 8 江良 風花 「海の中の異常気象 ～海洋熱波と魚の不漁の関係～」
- 9 清野 あかり 「日本の言葉のながれ」
- 10 尾野 沙雪 「虹」
- 11 兼子 珠緒 「結合双生児 ～戦争の爪痕～」
- 12 中村 裕吾 「睡眠と勉強 ～睡眠と勉強の関係性～」
- 13 小田桐 弘武 「性格」
- 14 伊藤 千乃 「幻想と空想」
- 15 工藤 琴葉 「和食と日本人の体質」
- 16 神 丈 「地球温暖化と将来 ～未来に及ぼす影響～」
- 17 小野寺 みのり 「Freemason」
- 18 齋藤 美来 「宿題は本当に必要か」
- 19 宮川 唯 ※本人の希望によりテーマは当日までのお楽しみ